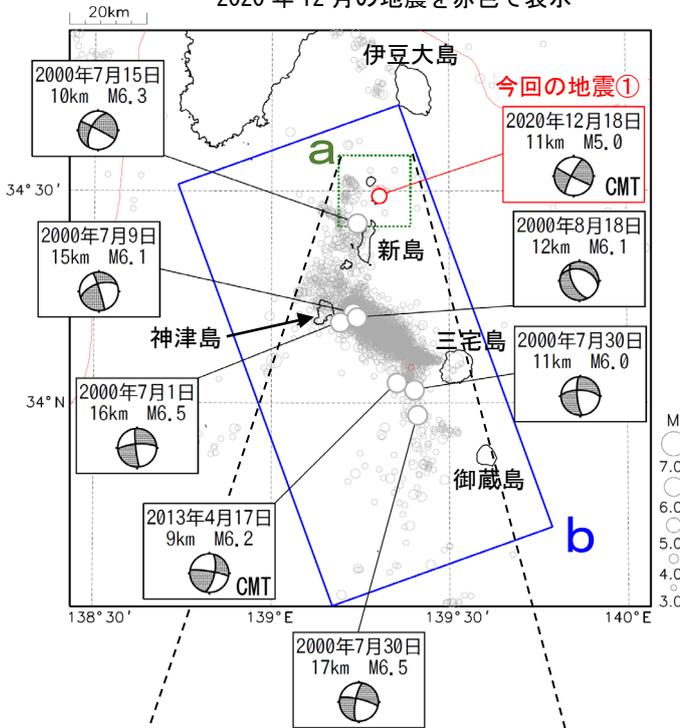


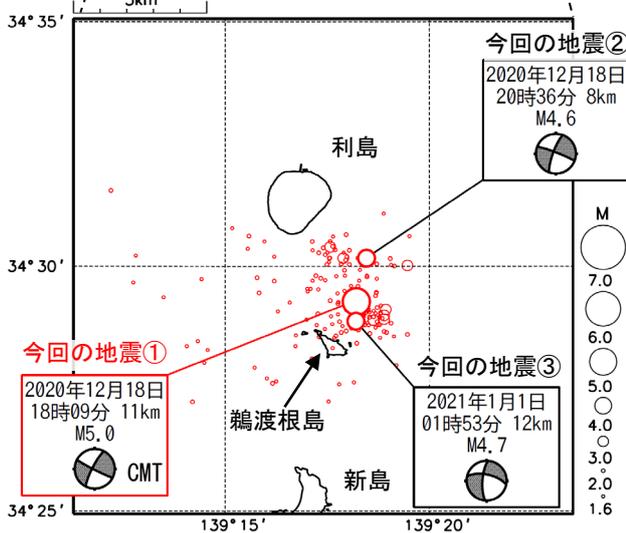
新島・神津島近海の地震活動

2020年12月18日18時09分に発生した地震に対して情報発表に用いた震央地名は[伊豆大島近海]である。

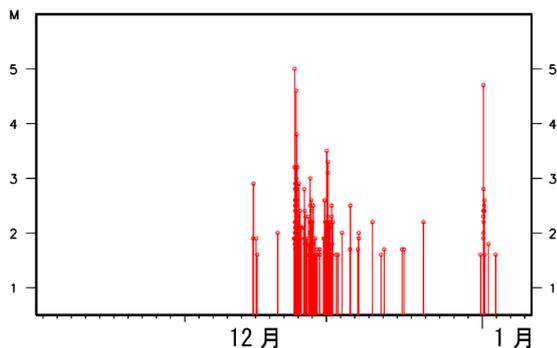
震央分布図
(1997年10月1日～2021年1月3日、
深さ0～30km、M≥3.0)
2020年12月の地震を赤色で表示



領域a内の震央分布図
(2020年12月1日～2021年1月3日
深さ0～20km、M≥1.6)



領域a内のM-T図

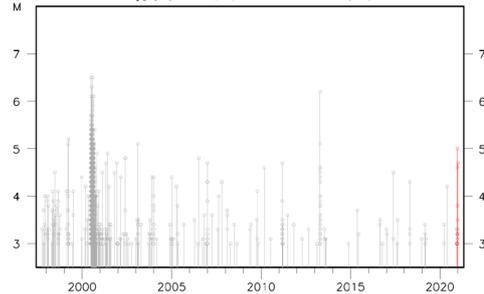


2020年12月18日18時09分に新島・神津島近海の深さ11kmでM5.0の地震(最大震度5弱、図中①)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。また、同日20時36分には、深さ8kmでM4.6の地震(最大震度4、図中②)が発生した。この地震の発震機構も北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。さらに、1月1日01時53分には深さ12kmでM4.7の地震(最大震度4、図中③)が発生した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。いずれの地震も、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。

今回の地震の震央付近(領域a)では12月半ばから地震活動があり、1月3日までに領域a内で震度1以上を観測した地震は39回発生した。

1997年10月以降の活動をみると、新島・神津島から三宅島にかけての領域bで、三宅島の火山活動が活発であった2000年の7月から8月にかけてM6.0以上の地震が6回発生した。

領域b内のM-T図



領域a内で震度1以上を観測した地震の日別震度別回数
(2020年12月15日～2021年1月3日)

期間	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	合計
12月15日	1	0	0	0	0	1
12月16日	0	0	0	0	0	0
12月17日	0	0	0	0	0	0
12月18日	8	4	2	1	1	16
12月19日	5	3	0	0	0	8
12月20日	3	0	0	0	0	3
12月21日	2	1	1	0	0	4
12月22日	1	0	0	0	0	1
12月23日	1	0	0	0	0	1
12月24日	0	0	0	0	0	0
12月25日	0	0	0	0	0	0
12月26日	0	0	0	0	0	0
12月27日	0	0	0	0	0	0
12月28日	0	0	0	0	0	0
12月29日	0	0	0	0	0	0
12月30日	0	0	0	0	0	0
12月31日	0	0	0	0	0	0
1月1日	4	0	0	1	0	5
1月2日	0	0	0	0	0	0
1月3日	0	0	0	0	0	0
合計	25	8	3	2	1	39